

平成18年4月18日
水産庁

平成18年度第1回サンゴ増養殖技術検討委員会の結果について

生育環境が厳しい条件下における増養殖技術開発調査事業（平成18年度創設）を円滑に進めるため、標記委員会を設置したところですが、本日、本委員会（別紙）の第1回目が開催され、下記について議論が行われましたのでお知らせします。

記

1.日 時：平成18年4月18日(火) 14:00～17:00

2.場 所：コンワビル 13F 第1会議室
(東京都中央区築地1-12-22)

3.議事概要：

- (1)本調査の全体概要について
- (2)現地調査の方法について
- (3)種苗生産技術について
- (4)サンゴ種苗生産センターについて
- (5)サンゴ増殖礁の開発について
- (6)サンゴ礁内の流動モデルについて

問い合わせ先

水産庁漁港漁場整備部整備課設計班

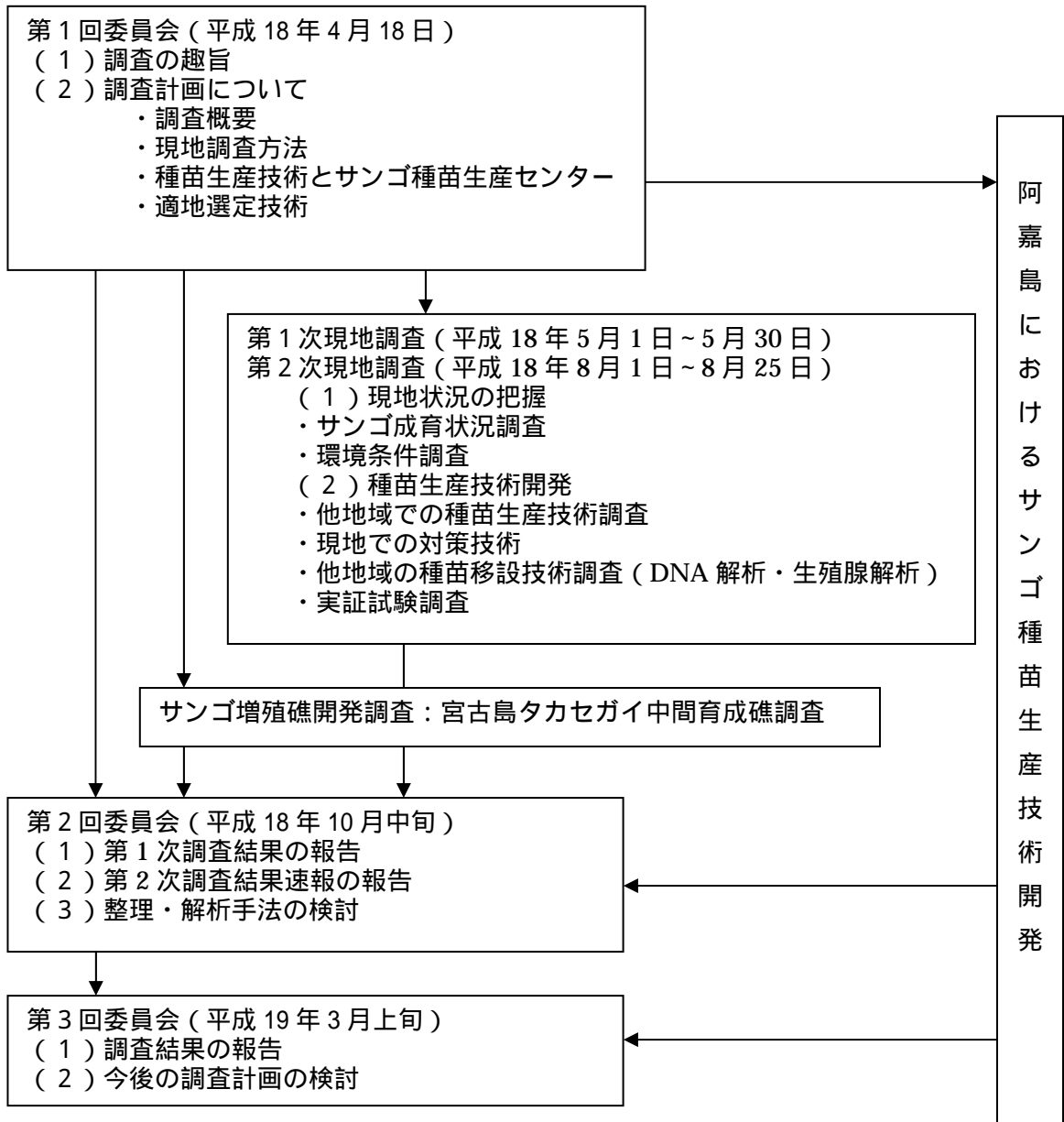
担当 山本、梅津

電 話：03-3502-8111(内線7278)

直 通：03-3502-8494

サンゴ増養殖技術検討委員会

検討スケジュール



調査全体の概要について

1. 沖ノ鳥島のサンゴの概観

既往調査によれば、沖ノ鳥島のサンゴは種類数が少ないこと、群体は小さくパッチ状で景観は全体的に貧相であることが確認されている。



写真-1-1 沖ノ鳥島の環礁内の水中景観

2. 調査目的

本調査は、生育条件が厳しい沖ノ鳥島において適用可能なサンゴの増養殖技術開発を図り、もって、その他海域にも適用可能なサンゴの保全・創造する技術手法を提案することを目的とする。

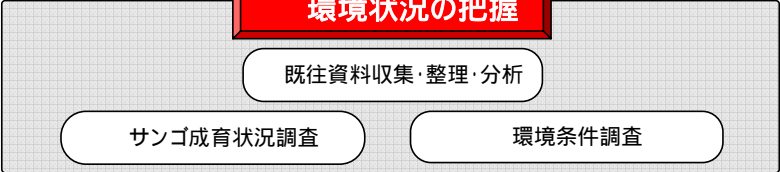
3. 調査検討業務の概要

本調査では、以下の項目を検討する。このために、現地調査、種苗生産、実海域での実証実験などあらゆる検討を踏まえ、サンゴ増養殖技術を体系的に確立する。なお、本業務の取りまとめにあたっては、委員会を設置する。

3.1 調査検討項目及び内容

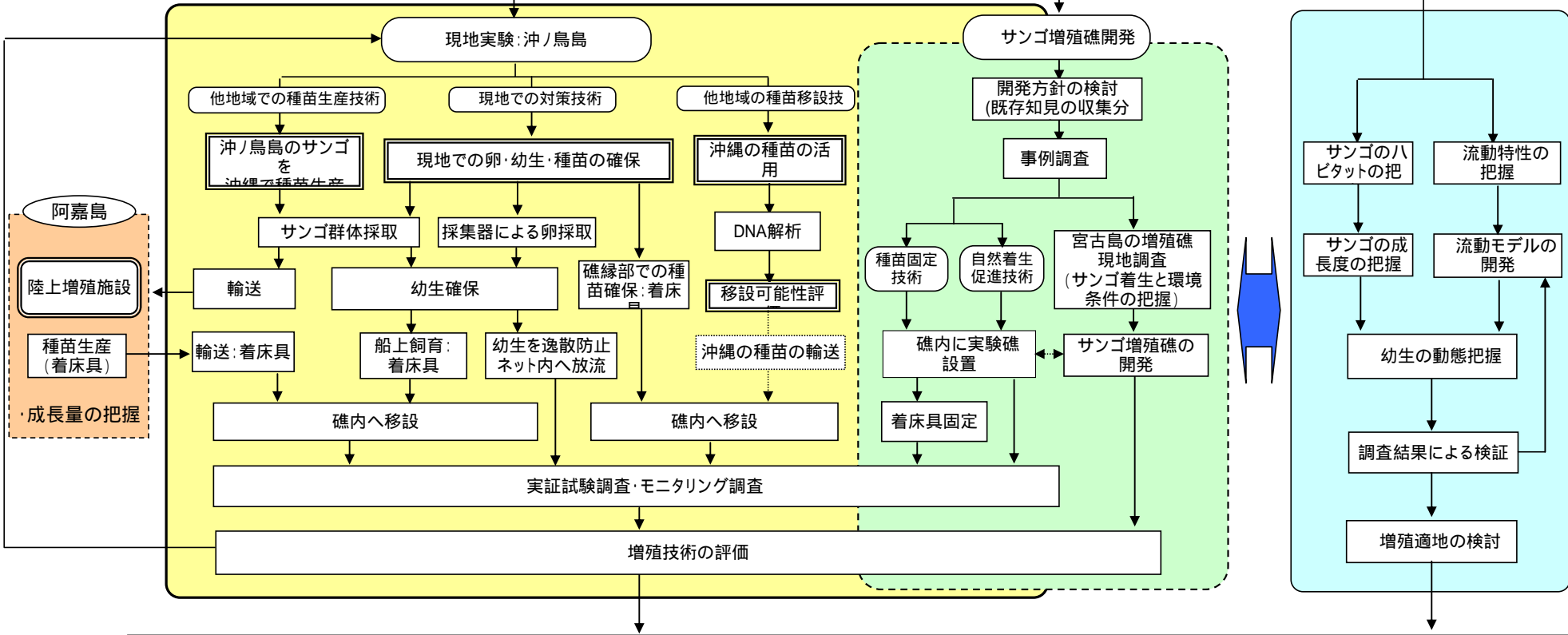
調査検討項目	主な内容
・現地状況の把握	既往資料収集・整理・分析 サンゴ成育状況調査 環境条件調査
・サンゴ増養殖技術開発	
-1. 種苗生産技術開発	他地域での種苗生産技術調査 現地での対策技術調査 他地域の種苗移設技術調査（DNA解析・生殖腺解析） サンゴ増殖礁開発調査 実証試験調査・モニタリング
-2. 適地選定技術の開発	サンゴハビタットの把握 流動特性の把握 サンゴの成長度の把握 流動モデルの開発 幼生の動態把握 増殖適地の検討
・サンゴ増養殖手法ガイドラインの作成	

環境状況の把握



-1 種苗生産技術開発

-2 適地選定技術の開発



サンゴ増養殖手法ガイドラインの作成